

社会福祉法人こぶしの会

2023(令和5)年度事業計画

2023年3月
第179回理事会

計画の趣旨と背景

長期化したコロナ禍の影響によって、原材料費の高騰による施設・設備整備の頓挫、経済活動の低下が、また、社会保障・福祉の財源難、制度の削減(助成金の打ち切り)があり二期連続赤字が見込まれます。また、少子高齢化が進む中、福祉人材も慢性的な人手不足が事業運営に大きく影響し、限られた人材により、地域の福祉ニーズの増大、複雑化の中で福祉実践の専門性が求められながら、現状維持に苦戦しています。こうした内外の苦しい状況の中で、地域ごとのネットワークを構築すべく、情報機器を利用しながら、地域単位での管理者連携による地域生活支援体制づくりへむけた努力を続けています。

こうした厳しい背景のなかだからこそ、あらためて地域福祉の理念を再確認し、地域・当事者と経営(社会福祉法人こぶしの会)が関係を深め、地域に根差す設立理念を受け継いでいくことを、重点目標として令和5年度の計画を推進していきます。

今年の、法人全般的計画は、国連障害者権利委員会勧告も受けて、こぶしの会の理念追求型の活動に取り組みながら次年度へ向けた長期計画策定の準備をしていきます。

[計画の項目]

- 1 理念・活動指針・支援原則に基づいた経営・運営
- 2 全職員が、学び、活動を共有し、経験の記録化を習慣化する
- 3 地域福祉の砦としての地域組織づくりと法人支援の強化
- 4 IT時代にふさわしい開かれた組織・ネットワークづくり

I 法人の共通する全般的計画

1 理念・活動指針・支援原則に基づいた経営・運営

- (1) 事業目的と評価基準の明確化
- (2) 目的と評価基準・支援の原則に基づいた各事業のプログラムの見直し
- (3) 年度代わりの職員キャリアアップ面接と個別支援計画作成を基本にした人事・年次計画の見直し、実施の検討

2 こぶしの会に関わる人々が、学び、活動を共有し、経験を通じた共感関係をつくる

- (1) すべての職員の研修・会議への参加
- (2) 各種研修の学生(有償)ボランティアの参加を広げる
- (3) 実践交流会(10月)の実施

実践交流会を開催し、職員・利用者の実践・作品・商品等の交流と表彰、家族・関係者との対話を広げる

- (4) こぶしの会に関わるひとたちとの学びと対話を広げます

具体的には、

[職員研修]

- ①新任研修の年間スケジュール・プログラムの見直しと、事業所・分野別複数コーチング制度の検討。
- ②年次キャリアアップ面接と計画(研修・実践)の連動
全職員がサービス提供計画作成にかかわる。(すべての職員のキャリアアップ計画)
- ③セルフプラン(意思決定)の作成実践と年次利用者人事と年間活動プログラム・年次工程の連動
- ④医療職(看護・OT/PT)のと介護・支援職との連携と、在宅福祉の再構築
- ⑤法人研修の報告書を動画を用い作成し資料アーカイブサイトを準備
- ⑥学生アルバイト等を含めた、法人企画研修・実践研修の企画
- ⑦法人図書の整備と推薦図書の選定

[利用者等研修]

- ①当事者活動づくりの学習を当事者とともにとりくみます
- ②家族会の再建を、説明会・新規事業検討会等を通じてとりくみます
- ③地域へ向けた学びと対話の機会をつくっていきます
・障害者雇用推進のための企業対象の研修など

- 3 地域福祉の礎としての地域組織づくりと法人支援の強化
 - (1) 上三川地域の地域包括ケアの検討研修(生活支援会議)をもとに、次期長期計画の基礎となる、各地域毎の長期計画策定(地域リーダー会議)を並行して作成準備をする。
 - (2) 理事、評議員を中心とした課題別研修の支援

- 4 新型コロナと共生し、IT時代にふさわしい、開かれた組織・ネットワークづくり
 - (1) 新型コロナ感染拡大期の事業継続の実践開発
 - (2) 情報関連のチームを編成し、課題を検討・実施していく
 - ① 就労支援事業の生産・販売・原材料調達等の管理とケース記録にキントーンの利用
 - ② HP の改良
 - ③ 研修の撮影・録画配信設備・システムの整備

- 5 その他の重要な計画
 - (1) 権限規定・情報共有化規程：仮・等の策定
 - ① 就業規則等の見直し
 - ② 人事計画と職務の標準化・マニュアルの策定・見直し
 - (2) 予算編成方針(財務計画)の修正と達成
 - ① じゃりの会の現状分析とあり方の検討

II 地域別の事業計画

[共通する計画]

歴史と未来をつなぐ地域支援システムづくりを5地域で検討(5次長計へ)

[地域別課題]

- 1 宇都宮南地域計画のポイント
 - ① 朝礼・職員会議を中心とした理念・支援原則に依拠した事業運営
 - ② 宇南地域の日常的な連携の習慣づくり
 - ③ 上三川地域との事業連携

- 2 上三川地域と事業別計画
 - ① GH の試行的実施と希望者の受け入れ、支援体制の構築

② 基幹相談支援を中核とした地域支援システム全体の検討と検討経過の発信

3 真岡地域と事業別計画

① 第2 けやき作業所・ホットCHA、県東ライフサポートセンター、上三川地域活動支援センターと連携し会議・学習の共有

② 真岡地域の本格的生産活動の構築

4 芳賀地域と事業別計画

① 第2 けやき作業所の就労支援・生活支援活動の事業分割検討とけやき作業所との連携

② 4町広域事業計画の検討

5 宇都宮東地域と事業別計画

① 宇南地域・芳賀地域、就労移行支援事業と連携し、宇東地域事業所の在り方検討・漸次実施

6 法人・広域事業

① 中・就労移行支援事業

芳賀地域支所の活動開発(CC)と就労移行支援事業の全法人的活動の構築

② 事務センター

就労支援会計の財務管理と連携(就労支援生産管理担当

現金出納の管理(一体的会計層との検討)

③ 法人事務局

・ 第三者委員会の広報をつよめ、現場、地域の課題を広く収集する。

・ 関係団体(現・旧家族会・地域後援会)の在り方と再構築の検討、漸次組織化

Ⅲ 分野別連携と新規事業の検討

【共通課題】

・ 研修、業務の標準化等、分野別の専門性を高めるとともに地域・法人間の連携・ネットワークを構築する。

1 就労支援会議

障害者雇用を広げる、A型事業の準備計画(B型事業の移行可能部分から検討)と別組織(法人外経営:NPO、株式会社)等の組織の在り方の検討

2 経済活動会議

6次産業化の長期プランの作成

全体イメージに沿った、事業の展開、人財・利用者(障害者雇用希望者)の育成

計画策定

3 活動・発達支援会議

発達支援・生活介護事業のプログラムの見直しと発達・ケア基礎研修(知的発達障害及び精神障害)の実施

4 生活支援(相談、居住)会議

○相談支援(管理者)基礎研修及び

当事者を中心とした当事者活動(余暇・文化活動をきっかけとして、ピアサポーター活動等、自治会の見直し)の検討(GH・相談支援・移行支援を中心に)の重点的实施

○介護研修(介護・生活支援職員：事務局/担当管理者+OT、PT)

○居住支援事業と経済活動(B型事業を中核に)を重点課題に事業の再構築を考える

・グループホーム担当会議

地域別GHの管理と地域GH間ネットワークの構築(生活支援会議)

○高齢期事業の漸次実施

以上は分野別課題と重複する。

在宅支援事業、高齢者デイサービス事業、高齢者居住支援等

5 分野(事業)別計画の主なポイント

(1) 居住支援事業

上三川地域GHの試行・建設(上三川地域GH連絡会議)

地域別GHの管理と地域GH間ネットワークの構築(生活支援会議)

(2) 経済活動

6次産業化の長期プランの作成

全体イメージに沿った、事業の展開、人財・利用者(障害者雇用希望者)の育成計画策定

障害者雇用を広げる(法人外経営：NPO、株式会社)等の組織の在り方、事業内容の検討

(3) 高齢期事業の漸次実施

・在宅支援事業、高齢者デイサービス事業、高齢者居住支援等